

代表・一般質問(要旨)



本会議の録画映像を
区議会ホームページでご覧いただけます。
<https://www.gikai-adachi.jp>

区政を

入事業者においては、国によつて報酬改定がされたものの、長引く物価高騰の影響により経営の厳しさは増している。区内生活を支えるために、区内事業者の実態を把握した上で、昨年度に引き続き、物価高騰支援を実施すべきではないか。

【福祉】区内事業者へ実施したアンケートでは、「国の報酬改定だけでは物価上昇に対応できない」との回答が多数あったため、区内生活を支える事業者への特別給付金経費について、今定例会に補正予算案を提出した。

【交通安全】自転車の利用者が安全・快適に走行するためには、自転車走行空間の整備が必要であるが、自動車専用通行帯上に駐停車することで自転車走行の安全性を低下させてしまう。このような自転車には厳格な対応が求められるが、警察との協議はどのような形になっているのか。

【都市建設】警察との協議により、自転車専用通行帯上の違法駐車の取り締まりを強化していくことになっている。区として必要に応じて駐車対策のポール等の設置を進めていく。



【高齢者を守るために連携強化を】

【問】区は、都や区社会福祉協議会等、様々な主体との連携を強化し、高齢者の住宅確保を進めていくべきだが、現状はどのような形になっているのか。

また、今後その連携を更に強化していく考えはあるのか。

【建築】有識者や不動産業の協会、福祉関連団体と連携し、居

住支援協議会を立ち上げ、情報を共有し協議を行っている。

今年度からは、UR都市機構と区が推薦した区内の居住支援法人によるサブリース型の自立支援スキームが開始している。

今後も「お部屋さがしサポート事業」の対象に生活保護受給者を加える等、様々な主体との連携強化に取り組んでいく。

【未来を担う幼児に最良の環境を】

【問】質の高い幼児教育を実現するために、保護者が自由に園を選択できる環境を整備し、子どもたちが最良の教育を受けられるよう、積極的な取り組みを求めるがどうか。

【教育長】子どもたちが最良の教育を受けられるよう、積極的に取り組んでいく。

【全ての保護者に平等な支援を】

【問】教育力強化に注力してきた足立区は、保護者のうち一人以上が外国籍で、授業料が有償の外国人学校に在籍する児童・生徒の保護者に対して、世帯所得を問わず、月額6千円の補助金を交付している。平等性の観点から、同様に授業料が有償である私立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対しても補助等をすべきと思うがどうか。

【子ども】私立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者は、外国人学校と比較すると、家庭が望んで私立学校を選択している場合が多いと考えている。

なお、私立中学校の授業料補助は都が実施しているため、私立小学校を含め、区独自の補助は現時点で考えていないが、引き続き、都や他自治体の動向を注視していく。

環境にやさしく、スポーツと文化で足立区を元気に!!

自由民主党

工藤 てつや 議員

【問】PPA事業は初期投資と保守の手間が抑えられる等、多くのメリットがあるが、区立小・中学校への導入にあたり、現在どのような課題に直面し、その課題に対してどのような検討を行っているのか伺う。

【環境】区と事業者の責任及びリスク分担のあり方や雨漏り等の施設管理上の課題、長期契約に伴うリスク等の課題があり、PPA事業者や学校施設の施工業者等とも協議を重ねてきたほか、経済産業省への疑義照会、先行実施自治体の視察、リーグアルチェック等を行ってきた。

【問】現在、バスケットボールが子どもに大人気となっているが子どもに優しく、誰もが移動しやすい足立区へ

自由民主党

伊藤 のぶゆき 議員

【問】区民から最も多く聞かれる内容は、はるかぜをはじめとするバス路線の減便・廃止についてであり、地域に大きな影響が出ているが、その原因の一つに運転士不足がある。公共交通維持のためにも、バスを含む交通事業者等に対する運転士待遇改善のための補助制度を検討すべきと思うがどうか。

【交通対策】地域公共交通計画の中で将来にわたる公共交通の担い手の確保を計画目標の一つとして位置付ける予定である。他自治体の支援内容や活用状況を注視しつつ、担い手確保に向けた効果的なバス事業者等への支援内容を今後検討していく。

【北綾瀬に若い世代を呼び込む策を】

【問】亀有駅から運行しているデイズニードランド行きのバス路線を、交通広場が完成する北綾瀬駅まで延伸することができれば、小岩や葛西等、区南側方面への移動が可能となると共に若い世代の流入が増え、北綾瀬駅周辺の更なる発展に寄与すると考えるが、バス事業者と交渉してはどうか。

【交通対策】既存路線の延伸は

日本共産党足立区議団

物価高騰・災害・交通空白から区民を守る足立区へ

日本共産党

ぬかが 和子 議員

【福祉分野に幅広い物価高騰支援を】

【問】①高齢・保育・障害等の施設・事業所への物価高騰支援②指定管理等「公」に関わる各事業の物価高騰実態把握と対応③障害者の日常生活用具の実態調査及び物価高騰に合わせた基準額の引き上げ

わが会派は右記を緊急要望として求めているがどうか。

【政策経営】①事業者へのアンケート等で厳しい運営実態が判明したため、区独自の特別給付金経費について、今定例会に補正予算案を提出した。

②各所属で実態を把握しつつ、契約変更や物価高騰対策予算の計上等にて適切に対応していく。③現在、購入額等の推移を調査している。日常生活用具のうち基準額を購入額が上回る例もあるため、令和6年12月を目途に物価高騰の影響を見極めた上で基準額の検討を行っていく。

【問】保険証の存続を求める陳

困難であるとの回答をバス事業者から受けているが、デイズニードランド行きの高速バスの乗り入れに前向きな他のバス事業者もいるため、北綾瀬駅周辺のまちづくりの動向を見ながら、バス事業者要望していく。



【問】①暑さ指数に関わらず水遊びができる噴水型遊戯施設を全ての区立公園に設けるよう、方針化すべきではないか。

②区は、校舎の断熱改修に消極的だが、子どもたちの健康を守り学習環境を向上させ、二酸化炭素削減のためにも断熱改修を進めるべきではないか。

【道路公園】①施設老朽化に伴う更新計画と共に検討を進める。また、これまで水施設がなかった六町エリアでは噴水やミスト等の整備を進めていく。

【道路公園】①施設老朽化に伴う更新計画と共に検討を進める。また、これまで水施設がなかった六町エリアでは噴水やミスト等の整備を進めていく。